

学校教育目標	a2 ◆心豊かに関わり、互いに高め合いながら学び続ける子に育てます◆ ～子どもが輝き、地域とともに歩む学校～ □知 課題解決に向け、自ら学びねばり強く取り組むことができる子を育てます。 □徳 善悪をきちんと判断し、正直に生き感謝の気持ちをもてる子を育てます。 □体 命を大切に、豊かな心と健康な体を育んでいく子を育てます。 □公 人や自然、荏田西のまちを大切に、思いやりをもって進んで関わる子を育てます。 □開 様々な人とのコミュニケーションを通し、視野を広げ考えを深める子を育てます。			
	創立 31 周年	学校長 矢崎 純一	副校長 東野 留美	2 学期制 一般学級: 24 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 770 人 主な関係校: 市ヶ尾中学校・東市ヶ尾小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	市ヶ尾中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
a3 【知】課題解決能力 【徳】善悪の判断 【開】視野を広げ考えを深める	a4 市ヶ尾中学校 東市ヶ尾小学校	a5○多様性を認め合い、共に支え合うことができる子ども ○笑顔と挨拶があふれる子ども  a6 ・ブロック学校運営協議会で「9年間で育てる子ども像」を共有する ・3校の校長会・教務主任会・専任会で情報を共有する ・小中連携を進め、「ブロックあいさつ運動」等、児童一生徒間の交流を行う ・荏田西地区・市が尾地区の子どもとして社会参画する機会をもつ

中期取組目標	a7○「心豊かにかかわり、互いに高め合いながら学び続ける子」を育てます。 ・1年目は、互いに関わることを通して、他者を認め、自分を認めていけるようにします。 ・2年目は、課題を自分事として考え、自ら解決しようとする力を育みます。 ・3年目は、多様な視点で物事を捉え、よりよい生活を自ら創り出そうとする力が発揮できるようにします。 ○3年間を通して、「目と目を合わせた挨拶」「話を聞く」ことができるようになり、児童が安心して自己発揮できるようにします。 ○隣り合う学級を異学年としたフロア経営と全学年一部教科担任制をとることで教師の専門性を高めます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 a8課題解決に向 かう力	a16①自分の考えをもち、人の話を聞くことによって友達と学び合い、さらに自分の考えを深めることができるよう な学習の充実を図る。②児童の実態を把握したり、求められる資質・能力を正しく理解したりする教材研究を行う ことを通して、児童自ら「問いや課題」をもって追究していく学習過程を大切にします。
徳 a9認める心の育 成	a17①隣り合う異学年の教室配置により、日常的な異学年交流を図ることを通して、自分の立場を弁えながらより よく人と関わるができる社会性を身に付ける。②生活科・総合的な学習の時間を通して、自ら問いをもち、協 働的に課題解決に向けた取組をしたり、自他を認めていく体験を積み上げていく。
体 a10逞しく健全な 心と体	a18①自分の健康に関心をもち、体力向上のため、進んで運動する態度を育てる。②生活の中に潜む危険を予測 し、自らがを防ぎ、健康的な生活を送る態度を養う。③自分の体を知り、健全に過ごす体と精神を自分でつ くり、自己を大切にできる心情を養う。④栄養教諭による食育や養護教諭による保健指導を充実していく。
公 開 a11多様性と柔軟 性	a19実社会に触れる体験や活動を通して、様々な生き方に触れ①「同じと違い」、「自己と他者」の多様な考えや感 じ方、思いを知り、認めていけるようにする。②試行錯誤する過程を尊重し、折り合いをつけることや、失敗に学 ぶことを通して柔軟な思考がもてるようにする。③地域の中で、「よりよく生きる子」の育成をめざす。
いじめへの対応	a20①いじめの未然防止を目指し、背景を含めた児童理解に努める。②YPアセスメントを活用し、一人ひとりの子 どもに関する多面的理解を深め、温かな学校風土を育むように努める。③教師の毅然とした指導を常とし、1年生 から「見ていた人」「止めなかった人」も加害者であるという意識をもたせるような指導を一貫して行う。
人材育成・ 組織運営(働き方)	a21①キャリアに捉われず、互いに関わりあっても伸びることができるような校務分掌にする。②校内OJTを充 実させ、メンターチームに所属する経験10年未満の教員を意図的な関わりをもって導いていく校内体制を整える。 ③ICT機器の活用を積極的に行うことや、合理的・効率的な働き方を意識して導入していく。
a12地域協働活動	b7①ブロック地域コーディネーターと連携を図り、地域人材や材を活用して児童を「地域の子」として育てる。②ブ ロック学校運営協議会での協議を通し、「社会に開かれた教育課程」の創造を進める。③学援隊や愛護会、民生 委員等との情報共有で、児童を取り巻く家庭環境を見守っていく。
a13特別支援教育	b8①個の特性・背景理解や学習・生活支援の在り方についての研修を行い、特別支援教育を推進し、個に応じた 指導・支援ができるようにする。②外部機関との積極的な連携・協力を図り、全校的な指導・支援体制の構築に努 める。③ユニバーサルデザイン・合理的配慮を経営の基盤とする。
a14児童指導	b9①全職員が「荏田西スタンダード」に基づいた指導を行い、児童の規範意識の向上を図る。②児童支援専任・ 専任サポート教諭を核とした組織的指導で、誰もが安心して通える学校を目指す。③Y-Pアセスメントやアンケ ート結果分析から、丁寧に児童を見取り、背景も理解しようとしていく。
a15多文化共生	b10①豪州姉妹校をもつ国際交流専門研究校として、豪州の歴史や文化、生活について理解を深める。②オンラ インでの交流をはじめとして、豪州姉妹校との連携を進める。③AETやIUIとの学習を通し、多文化理解を深めると 同時に、日本文化について知り、我が国の伝統や文化に誇りがもてるようにしていく。